



学校だより

令和7年2月3日

ときめきにあふれ、個性が光り合う、
あったかい学校づくり

NO. 43



「夢中」「喜び」「存在感」そして「感動」の授業！

1月24日(金)1時間目、教員の授業研究の一環として、近藤先生が3年2組の音楽授業を公開しました。生徒一人ひとりが選んだ楽器(ピアノ、ギター、トーンチャイム)を使って、「3月9日」という曲を合奏する授業でした。多くの教員が参観する中、生徒は夢中になって練習したり、教え合いながらリズムや音階を合わせたりしていました。そして、自分に与えられたパートを責任をもってやろうとする「存在感」や、練習によって弾けるようになった「喜び」、みんなで合わせたときの「感動」を生徒の表情からも強く感じる素晴らしい授業でした。こんな授業をめざしているのです。



1年人権学習「そんなら、どうしたらええねん」

1月29日(水)6時間目、1年全学級において人権学習を行いました。特に1年2組は、市内の小・中学校の先生方も参観する公開授業でした。『「○○○』という言葉を使わないだけでは、なぜいけないのか』という中心発問(問いかけ)に対して、グループで話し合いをしながら考えを整理し、「単に使わないだけでは本当に理解したことにならない。無意識のうちに使ってしまう。そのままでは偏見や差別はなくなる。」など、よく考えられた意見が出ていました。

